

## 令和2年度科学の甲子園ジュニアエキシビション大会概要

### 1. 令和2年度科学の甲子園ジュニアエキシビション大会について

新型コロナウイルス感染症緊急事態措置やそれに伴う休校が長期化した状況により、都道府県大会の実施が困難となり、それに伴い、第8回科学の甲子園ジュニア全国大会の開催も中止することとなった。代わりに、全国の中学1、2年生を対象に、理科・数学・情報をオンライン上で競い合うエキシビション大会を開催する。

### 2. 実施・協力体制

主催 国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）

共催 兵庫県、兵庫県教育委員会

後援 文部科学省（予定）、全日本中学校長会（予定）、  
全国中学校理科教育研究会（予定）、公益社団法人日本理科教育振興協会  
都道府県教育委員会及び協働パートナーの協力を得て開催する。

### 3. 開催日程

エントリー：令和2年11月16日（月）10:00から令和2年11月27日17:00まで

実施日時：

（オンライン開会式） 令和2年12月5日（土）13:00～13:30（予定）

（オンライン筆記競技予選） 令和2年12月5日（土）14:00～15:00

（オンライン筆記競技予選結果発表） 令和2年12月10日（木）15:00

（オンライン筆記競技本選） 令和2年12月12日（土）14:00～15:00

（オンライン表彰式（本選結果発表）） 令和3年1月12日（火）16:00～16:30（予定）

（特別体験プログラム） 令和2年11月16日（月）～12月21日（月）

（特別体験プログラム結果公開） 令和3年1月18日（月）から順次公開（予定）

### 4. エントリーについて

- ・ エントリーの単位は、1チーム3名以上6名以内とする（同一都道府県内であれば学校が異なっても編成可）。
- ・ エントリー資格は第8回科学の甲子園ジュニア全国大会と同様とする。
  - ・ 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）に定める中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部（以下、中学校等）に所属する生徒で構成する。なお、構成員は中学校等での通算在籍が過去の在籍も含め2年未満の生徒とする。

- ・ エントリーは代表者（各学校の教員）が行う。
- ・ エントリー方法等の情報は各都道府県教育委員会を通して各学校に連絡する。エントリー情報は都道府県教育委員会にも共有することとする。
- ・ エントリーはオンライン筆記競技と特別体験プログラムについて行う。特別体験プログラムのみ参加する場合もエントリーを行う。

## 5. 競技内容

- ・ PC 等を用い、自宅や学校で筆記競技に取り組む形とする（オンライン筆記競技）。実施場所は感染状況を踏まえ、代表者及び参加者が判断する。
- ・ オンライン筆記競技時のチームメンバー内の相談は可（感染状況によりビデオ会議や電話等も活用）。ただし、解答にあたって教科書、参考図書、WEB 上の情報、チーム外の人物からのアドバイスなどを参考にすることはできない。
- ・ オンライン筆記競技は予選と本選から成る。
- ・ 予選の結果により本選出場チームを選抜する。具体的には、以下のいずれかもしくは両方に該当するチームが本選に進むことが出来る。
  - ① 各都道府県内で予選 1 位のチーム
  - ② ①のチームも含めた全体予選順位で上位 50 位以内のチーム
- ・ 本選と予選の内容は以下の通り。
  - （予選）
    - ・ 6 分野（物理、化学、生物、地学、数学、情報）からそれぞれ出題する。
    - ・ 配点は各分野 50 点、合計 300 点とする。
    - ・ 解答形式が選択式、数値入力式、語句入力式の問題のみに限定して出題する。
    - ・ 競技時間は 60 分とする。
    - ・ 各分野におけるチーム内の最高得点を当該分野のチームの得点とする（例えば、物理分野において、A さん：10 点、B さん：0 点、C さん：0 点、D さん：30 点、E さん：20 点、F さん 0 点だった場合、物理分野におけるチームとしての得点は 30 点（チーム内の最高得点である D さんの得点）となる）。
  - （本選）
    - ・ 6 分野（物理、化学、生物、地学、数学、情報）からそれぞれ出題する。
    - ・ 配点は各分野 50 点、合計 300 点とする。
    - ・ 予選と異なり、解答形式による出題問題の限定は行わず、様々な解答形式の問題を出題する。
    - ・ 競技時間は 60 分とする。

## 6. 特別体験プログラム

- ・ 科学の甲子園ジュニアの実技課題を体験してもらうため、特別体験プログラムを行

う。

- ・ 実技課題は、各チームメンバーが自宅にいても、ビデオ会議や電話等でコミュニケーションを取りながら実施できる内容を出題する。
- ・ 実技課題に取り組む環境は同一ではなく、十分な公平性が担保できないため、実技課題の結果による順位付けや表彰は行わない。あくまで体験プログラムと位置づける。
- ・ 各チームは1ヶ月程度の課題研究期間に実技課題に取り組み、実施した結果（記録情報や動画、写真等）をJSTへ提出することとする。
- ・ 実技課題に必要な材料は各チームで調達することとする。
- ・ 特別体験プログラムのみの参加も可能（オンライン筆記競技への参加は必ずしも必要ではない）。

## 7. 表彰等

- ・ オンライン筆記競技（本選）の総合得点（全分野の合計得点）で総合順位を算出する。
- ・ 総合順位5位までを表彰する。
- ・ オンライン筆記競技（本選）の各分野の最上位チームを表彰する。
- ・ 表彰対象の順位において、同点のチームが出た場合は、予選の結果も踏まえて表彰対象のチームを決定する。
- ・ 表彰対象のチームは、協働パートナーから副賞を贈呈する。
- ・ 表彰対象のチームは、チーム名、学校名、都道府県名をホームページ等で公表する。
- ・ 各チームの成績（総合得点・順位、各分野の得点・順位）は、当該チームの代表者及び当該都道府県教育委員会へ通知する（本選進出チームの場合は予選及び本選の成績を、予選敗退チームの場合は予選成績のみ通知する。）。
- ・ 特別体験プログラムで提出された実施結果（記録情報や動画、写真等）はホームページ等で一般公開する。

## 8. その他

- ・ 参加チームには記念品を贈呈する（参加チーム全員にはオンラインで入手できる記念品を想定）。
- ・ PC等の端末の準備及び通信費については参加者負担とする。

以上